



## 事業実績シート

(経緯・現状)

平成 14 年度より釜山広域市観光協会内に常勤の長崎市職員 1 名を派遣し、更に現地職員 1 名を配置していたのを、平成 25 年度より職員体制等を見直し、長崎市職員 1 名を必要に応じ出張するよう変更した。更に平成 31 年度からは専任職員の設置は廃止し、個人から現地法人への委託契約とするが、引き続き必要に応じて長崎市職員を出張するよう変更する。

## 事業実績シート

### 2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算				
事業費（円）		5,915,852	5,224,050	5,806,068				
（財源内訳）	国庫支出金	0	0	0				
	県支出金	0	0	0				
	地方債	0	0	0				
	その他	0	0	0				
	市町振興共同事業助成金	4,684,000	4,161,000	3,474,000				
	一般財源	1,231,852	1,063,050	2,320,068				
成果（活動）指標	指標名		指標設定の考え方	単位	区分	28年	29年	30年
	①	韓国から長崎市への宿泊者数（延べ宿泊者数）	派遣職員の現地でのPR活動により、宿泊者数が増加すると判断されるため。		目標	100,000	100,000	100,000
					実績	76,262	83,920	98,875
					目標達成率（％）	76	84	99
	②				目標			
					実績			
目標達成率（％）								

\* 平成30年実績は、毎年6月に発表される長崎市観光統計（暦年の外国人延べ宿泊者数）によるため未確定。

### 3 事業の振り返り

必要性の点検	（1）公共性評価		必需（+）  私益（-）      公益（+） 選択（-）
	（公益性）	（必需性）	
	<input checked="" type="checkbox"/> 広く社会に利益をもたらすサービス <input type="checkbox"/> 特定の個人又は集団のためのサービス <input type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	<input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠なサービス <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠ではないサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	
	（2）行政関与の妥当性評価		（3）廃止又は休止した場合の影響
妥当性低い      妥当性高い （-）      0      （+） 		（影響内容、程度等） ・ 韓国内の市場動向及び情報をタイムリーに把握することが出来なくなる。 ・ これまで構築した韓国内での人的ネットワークが希薄になる。 ・ 現地スタッフを活用した効率的、効果的な事業展開が図れなくなる。	

## 事業実績シート

### 4 有効性の点検、効率性の点検

有効性の点検	(1) 成果(活動)指標の達成状況		(左記結果となった理由)
	<input type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input checked="" type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標を下回った		
	(2) 成果(活動)指標を向上させるため、事業内容や実施方法を工夫する余地		
	<input type="checkbox"/> 工夫の余地はない <input checked="" type="checkbox"/> 工夫の余地がある		(工夫の内容・工夫の余地がない理由) ・学校訪問や企業訪問等を積極的に行うことで、教育旅行及び企業報奨旅行の誘致に努める。 ・夜景観光PRによる福岡からの日帰り客の宿泊型への誘導に努める。
	実施予定	期 日	
(3) 類似事業との統合		(統合可能性のある類似事業名、統合不可能な場合はその理由)	
<input type="checkbox"/> 類似する事業と統合可能 <input type="checkbox"/> 類似する事業はあるが、統合不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 類似する事業はない			
効率性の点検	(1) 民間委託化等の妥当性評価		(具体的内容)
	<input checked="" type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務がある <input type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務はない		平成31年度からは、事務所運営にかかる専任職員(必要に応じて出張)の設置を廃止し、従来の個人への委託から現地法人への委託へと変更する。 委託業務内容は概ね変更はないが、セールス・営業活動について強化する。市職員は引き続き必要に応じて出張する。
	(2) 受益者負担の適正化等による歳入確保		(判断理由と可能な歳入確保内容)
<input type="checkbox"/> 既に受益者負担の見直し等で歳入確保を実施済み <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等で歳入確保は可能 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等での歳入確保は困難			

### 5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了(完了)	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施(予定)時期					
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> サービス水準低下	<input type="checkbox"/> サービス水準向上	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
効率性の点検から	<input type="checkbox"/> 委託化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 広告料収入等の新たな歳入の確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">           具体的内容         </div>					